

令和6年度 中原小学校 働き方改革への取組

目的

子ども達と向き合う時間の確保と魅力ある教職員となるため、自分磨きを行い、働きがいのある職場環境を全職員で作り出すために改革を行う。

方法

月一回開催される「安全衛生委員会」で協議する。
参加者は、校長、教頭、教務主任、保健主事、養護教諭、事務主任

内容

超過勤務時間の推移、業務改善等について協議を行い、働き方改革を推進していく。

令和6年度 中原小学校 働き方改革への取組（1学期）

4月

- 新学期の業務があり、超過勤務が多かった。金曜日を自分磨きの時間や家族との時間にあてるための「ハッピーフライデー」とし、定時退勤を推進していく。
- 校務支援ソフトの活用による夕会の時間短縮に取り組む。

5月

- 出張が増えてきたので超過勤務になっていた。自習計画を早めに考えるなど工夫をする。
- 金曜日の「ハッピーフライデー」に向け、1週間の見通しを持ち、メリハリのある業務を行う。

6・7月

- 超過勤務時間は削減してきている。超過勤務をする職員が固定化しているので、個別に対応していく。
- クラウドの利用により、個人にあった時間帯で仕事ができるようにしていく。

令和6年度 中原小学校 働き方改革への取組（2学期）

9月

- 運動会や通知表の業務があり、超過勤務が多かった。
- 超過勤務時間の削減のため教員業務支援員や地域の方の積極的な活用を図る。
- 週で計画的に業務を進め、金曜日に定時退勤できるようにしていく。

10月

- 超過勤務時間は削減してきている。お互いに声を掛け合うなど、退勤時間を意識した職員室の雰囲気作りが少しずつできてきている。
- 個別に超過勤務の業務内容を聞き、その解決策を探った。学年間、校務分掌など組織的な取組を増やし、業務の平均化を図る。

11月